

令和3年度大船渡市 I L C 推進協議会総会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和3年7月26日(月) 午後1時30分から午後3時20分
- (2) 場所 大船渡市民文化会館(リアスホール) マルチスペース

2 会員数 31名

3 出席者

(1) 会員 20名

岩手県飲食業生活衛生同業組合大船渡支部 副支部長 志田繕隆
(一社)岩手県建設業協会大船渡支部 支部長 紀室裕哉
(一社)岩手県建築士会気仙支部 幹事長 鈴木昭司
岩手県トラック協会大船渡支部 支部長 新沼学
岩手県立大船渡高等学校 校長 吉田祥
大船渡金融団 当番幹事 岩手信用保証協会大船渡支所長 藤村啓二
大船渡国際港湾ターミナル協同組合 専務理事 細川廣行
大船渡五葉ライオンズクラブ 会長 瀧上清
(一社)大船渡市観光物産協会 会長 齊藤俊明
大船渡市議会 議長 三浦隆
大船渡市社会福祉協議会 会長 田村福子
大船渡市小・中学校長会 立根小学校校長 志田知美
大船渡市水産振興連絡会 会長 船砥秀市
大船渡商工会議所 会頭 米谷春夫
大船渡ライオンズクラブ 幹事 鈴木真弓
大船渡ロータリークラブ 副会長 刈谷喜記
気仙地方森林組合 代表理事組合長 爪木澤光毅
岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター 主事 鈴木智士(※オブザーバー)
大船渡市 市長 戸田公明
大船渡市教育委員会 教育長 小松伸也

(2) 事務局 6名

I L C 推進室長 武田英和 I L C 推進室次長 山口浩雅 商工港湾部長 今野勝則
企業立地港湾課長 伊藤喜久雄 都市整備部長 阿部博基 建設課長 金野尚一

4 議事の経過

午後1時30分に I L C 推進室長の進行で開会した。

はじめに、本協議会会長である戸田市長から「昨年8月の国際推進チーム設立に併せて、東北でも、「東北 I L C 事業推進センター」を立ち上げ、建設候補地の地形調査、研究施設を生かしたまちづくりに向けて、より実務的な活動に取り組んでいる。このような中、先月2日には、国際推進チームから、I L C 準備研究所の運営指針等を取りまとめた提案書が公開されたところであり、今後は、この提案書に記載された方向性に沿って、I L C 準備研究所の設立に向けた活動を進めていくこととしている。このようなことから、I L C 計画を取り巻く情勢は、国内外で着実に前進してい

るものと捉えており、本協議会としても、政府の誘致判断を強力に後押しするため、受け入れ準備を適切に整えることなどが必要と考えている。ILCを誘致・実現するためには、皆様方のお力添えが何よりも重要であることから、引き続き、ご支援、ご協力をお願いしたい。」とあいさつがあった。

ここからは、大船渡市ILC推進協議会規約第6条第1項の規定により、戸田会長が議長となり進行した。

○議案第1号 令和2年度事業報告について

議長が事務局に議案第1号の説明を求めた。

事務局の大船渡市ILC推進室次長が、総会資料に基づき議案第1号について説明した。

事務局説明後、議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第1号は承認された。

○議案第2号 令和3年度事業計画（案）について

議長が事務局に議案第2号の説明を求めた。

事務局の大船渡市ILC推進室次長が、総会資料に基づき議案第2号について説明した。

事務局説明後、議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第2号は承認された。

○議案第3号 役員改選（案）について

議長から事務局に議案第3号の説明を求めた。

事務局の大船渡市ILC推進室次長が、総会資料に基づき議案第3号について説明した。

事務局説明後、進行について事務局一任との発言があり、事務局案が示されたところ、議案第3号は承認された。

次に、次第「4 その他」について、会員に発言を求めたところ、下記のとおり発言があった。

(1) ILC 誘致決定後の組織の在り方に関する質疑応答

質問者：大船渡商工会議所 米谷会頭

内 容： ILC の誘致が決定した場合、その後の会合については別組織を立ち上げることになるのか。

回答者：大船渡市 ILC 推進室 武田室長

内 容： 誘致決定後に本協議会を移行するのか、別組織を立ち上げるのかについてはまだ検討していないが、いずれにしても、ILC の誘致実現は各分野に波及効果があるものであるから、恩恵をより多く得られるように、市全体で取り組んでいくことが重要である。

回答者：大船渡市 戸田市長

内 容： 本協議会の規約第1条に「国際リニアコライダーの東北への建設実現のため、大船渡市 ILC 推進協議会を設置する。」と明記されている。

規約における「建設実現」とは、誘致決定して終わりではなく、関連施設の建設、まち

づくりがなされて、ようやく「建設実現」であると考えている。

市としては、着々と準備したうえで、作成したまちづくりビジョンとアクションプランを一つ一つ実現していく。

(2) 配布したティッシュボックスのデザインに関する意見

発言者：岩手県建築士会気仙支部 鈴木幹事長

内 容： 配布されたティッシュボックスにおいて、一番急峻な道路部分が「住田町」の文字で隠れてしまっているので改善してほしい。できるだけ地元の内情・将来性などを見越したデザインにしてほしい。

(3) 会員の新規加入に関する質疑応答

質問者：岩手県建築士会気仙支部 鈴木幹事長

内 容： 大船渡高校が会員となっているが、大船渡東高校でも ILC について勉強会を開催しているため、新たに大船渡東高校を本協議会の会員に追加するのはどうか。

また、外国人研究者に向けた取組では、国際交流団体等の英訳を頼ることがあるかと思われるが、岩手県国際交流協会を会員に加えることについてどのように考えるか。

回答者：大船渡市 ILC 推進室 武田室長

内 容： 協議会の目的は ILC 誘致実現に向けた機運醸成であることから、会員を新たに増やすことについてはプラスにとらえてよいものと考えている。

加入までの流れを再度確認したうえで、相手の意向を確認し、可能であれば新たに加えたい。

なお、総会終了後、岩手県 ILC 推進局 高橋勝重氏より「ILC の最新動向について」と題し、講演をいただいた。